

一般・応用言語学研究活動報告（1989年度）

<学位論文>

- 杉田 泰史 修士論文  
「中国語の語順に見られる類型論的『不整合性』について」
- 野村 美穂子 修士論文  
「物語文のテキストにおける述語の形態と意味－『蜘蛛の糸』を中心に－」
- 藤井 義久 修士論文  
「アラビア語における一致現象について」
- ト 雁 修士論文  
「あいさつ行動様式に関する基礎的探究－日中語あいさつ表現の比較を中心として－」

<個人>

- 李 徳奉  
「動物の食用性に関する心理言語学的研究 1, 2」（共同研究）『関西心理学会第101 回大会発表論文集』pp. 17-18, (1989.11)
- 「日韓児童の意味構造の比較発達心理学的研究」（稲盛財団の研究プロジェクトによる共同研究進行中）
- 「言語学における比喻研究の最近の動向から」『メタファーの心理学』（芳賀純編）誠信書房（印刷中）
- 乾 秀行  
「子音体系の類型論的考察」第14回関西言語学会口頭発表（大阪外国語大学）（1989.11）
- 佐藤 琢三  
「受動態の連続的記述」第3 回日本語文法談話会口頭発表（京大会館）（1989.12）
- 杉田 泰史  
「中国語史における『哈字句』と『把字句』－語順の変化を決定づけるもの－」中国語学会第39回全国大会発表論文（1989.10）

馬場 俊臣

「原文と要約文の反復語句」 『文章構造と要約文の諸相』（佐久間 まゆみ編） くろしお出版（1989.10）

「要約文の指示語使用の特徴」 同上

「指示語使用の一面－要約文中での使用について－」 北海道教育大学語学文学会平成元年度学術研究発表会口頭発表（北海道教育大学札幌分校）（1989.11）

山岡 政紀

「授受補助動詞と依頼行為」 筑波大学国語国文学会大会口頭発表（1989.10）

「授受補助動詞と依頼行為」 『文芸言語研究…言語篇』17（1990.1）

渡邊 文生

「節の接続関係による要約文の特性」 『文章構造と要約文の諸相』（佐久間 まゆみ編） くろしお出版（1989.10）

『言語学論叢』会員名簿（1990学年度）

氏名	所属
青山 文啓	東海大学
Andrej Bekeš	筑波大学文芸・言語学系
Antonio Ruiz Tinoco	
李 寅泳（イ・インヨン）	韓国外国語大学
池田 潤	テルアビブ大学院
李 徳奉（イ・トグボン）	応用言語学博士5年
乾 秀行	一般言語学博士5年
李 炯宰（イ・ヒョンジエ）	応用言語学博士4年
呉 凌非（ウ・リツフェイ）	応用言語学博士5年
岡野 雅雄	尚美短期大学情報コミュニケーション学科
奥坊 光子	山梨英和短期大学
小沼 喜好	筑波大学非常勤講師
金子 広幸	応用言語学（日文研）（博士2年休）
川崎 晶子	筑波大学現代語現代文化学系講師
金 善姬（キム・ソンヒ）	一般言語学博士3年
金 東郁（キム・トソク）	応用言語学博士1年
金 河守（キム・ハス）	応用言語学博士1年
Gregory Moore	応用言語学（博士2年休）
小林 正佳	応用言語学博士5年
佐伯 紀子	応用言語学（日文研）博士1年
佐々木 冠	一般言語学博士1年
佐藤 琢三	応用言語学博士2年
Saowaree Wattanachonkon	タマサート大学
清水 由利子	CMF帰国子女・在日外国人相談室長
白川 博之	広島大学日本語教育学科
辛 碩基（シン・ソッキ）	応用言語学博士2年
杉田 泰史	一般言語学博士4年
辻子 美保子	McGill大学院（応用博3休）
Suchada Pontunyaviriya	応用言語学博士5年
Sonia R. Ronghi Ninomiya	リオデジャネイロ連邦大学
竹内 茂夫	一般言語学博士5年
竹田 完次	応用言語学博士1年
田中 俊樹	応用言語学博士1年

張 麗群 (チャン・リチン)  
 崔 聖玉 (チェ・ソンオク)  
 趙 南星 (チョ・ナム・ソン)  
 鄭 惠卿 (チョン・ヘギョン)  
 鄭 眞虎 (チョン・ジンホ)  
 寺尾 康  
 中江 加津彦  
 野村 美穂子  
 野本 忠司  
 橋本 邦彦  
 畠山 勝彦  
 Hanan Rafik Mohamed  
 長谷川 守寿  
 馬場 俊臣  
 林 明子  
 広江 浩一  
 藤井 義久  
 ト 雁 (フ・イェン)  
 許 仁順 (ホ・インソ)  
 Polly Sztatowski  
 堀越 喜晴  
 前原 寛  
 牧原 功  
 松本 善子  
 三上 司  
 宮田 アメリア・ルイサ  
 皆島 博  
 関 光準 (ミン・クァンジュン)  
 山岡 政紀  
 山本 秀樹  
 楊 凱榮 (ヤン・カイロン)  
 ユン・バイ・キング  
 吉村 弓子  
 羅 聖榮 (ラ・ソンヨン)  
 Ratchanee Piyamawadee  
 Le Van Cu  
 Rebecca・Chau (周馥卿)  
 Ronald Craig  
 渡邊 文生

応用言語学博士 5 年  
 応用言語学博士 4 年  
 応用言語学博士 3 年  
  
 一般言語学博士 1 年  
 常葉学園大学  
 一般言語学博士 2 年  
 応用言語学博士 3 年  
  
 室蘭工業大学  
 筑波大学非常勤講師  
 応用言語学 (日文研) 博士 4 年  
 応用言語学博士 2 年  
 北海道教育大学  
 トリアー大学非常勤講師  
 応用言語学博士 3 年  
 神戸大学大学院  
 応用言語学 (日文研) 博士 3 年  
 全北大学日語日文学科  
 ミネソタ大学  
 恵泉女学園短期大学非常勤講師  
 光明寺住職  
 応用言語学博士 2 年  
 パークリ大学院博士課程  
 茨城キリスト教大学  
  
 一般言語学博士 3 年  
 応用言語学博士 5 年  
 筑波大学文芸言語学系助手  
 弘前大学  
 お茶の水女子大学客員研究員  
 応用言語学博士 1 年  
 豊橋技術科学大学  
 応用言語学博士 4 年  
 応用言語学博士 5 年  
 東京外国語大学非常勤講師  
 香港中文大学  
 応用言語学博士 3 年  
 応用言語学博士 5 年

~~~~~ 原稿募集 ~~~~~

『言語学論叢』第10号（1991年春発行予定 1990年度版）掲載分の原稿を募ります。

下記の投稿規定を確認の上、掲載を希望する方は、1990年12月末日までに書面その他によって編集委員までお申し出下さい。

~~~~~ 投稿規定 ~~~~~

ほぼ以下のとおりですが、掲載希望者にはより詳しい書式をお送りします。

- <資格> 会員であること
- <枚数> 和文の場合：A 4 版全角39字×30行×14枚以内（英文要旨1枚を含む）  
欧文の場合：A 4 版半角78字×30行×14枚以内（和文要旨1枚を含む）
- <要旨> 本文が和文の場合、英文1枚以内  
本文が欧文の場合、和文1枚以内
- <締切> 原則として、1991年3月1日
- <採否> 編集委員会で決定

注：原稿は原則として返却しません。

論文掲載者には本誌5部を贈呈します。

~~~~~ 編集後記 ~~~~~

暑い日々が続きますが会員の皆様にはお元気で活躍のことと存じます。予定ではこのように暑くなる前に発行するはずだったのですが、編集側の不手際により大幅に遅れたことをお詫び申し上げます。

今号は誠に残念なことながら寺村先生の追悼号ということになってしまいました。寄せていただいた追悼文によっても先生のお人柄が偲ばれ、後進の我々もいっそう精進せねばと思う次第です。

なお、今回は掲載希望者も多く、編集の側としては嬉しい悲鳴といったところでしたが、次号以降もさらに活発な寄稿をお待ち申し上げております。（N）